富所 潤の

FISHIN'GRAPH

フィッシン'グラフ～見て感じて楽しむ沖釣りライフ

③城ケ島沖のライトヤリイカ

◎隔号連載・毎月15日発売号掲載

◎とみどころ じゅん　シマノインストラクター。ティップエギング、メタルスッテゲーム、ライトヤリイカのほかタチウオなど、船のライトゲーム、「楽しむ釣り」の最先端を行く。

数年前まで、ヤリイカは専用タックルがなくては楽しめない釣りだった。しかし現在は深場のマルイカ、あるいはアマダイ、タチウオなどに使うタックルでも、楽しめる乗合船がある。

それは春の浅場ではなく、150メートル以上の深さを狙う、冬の城ケ島沖での話だ。

「ぼくはいつもこの道具でヤリイカを釣っています」

秋から冬にさしかかろうとしている三浦半島小網代・やまはち丸のヤリイカ乗合に富所潤さんが持ってきたのは、マルイカ用のタックルだった。

ロッドはベイゲームマルイカ82・140。リールはフォースマスター300DH。道糸はPE1号300メートル。

やまはち丸のヤリイカ船は、道糸PE2号以下ならオモリ80号の「ライトヤリイカ」を楽しむことができる。

釣り場は城ケ島沖、ポイントの水深は150メートル前後。いわゆる本格的なヤリイカフィールドで、ノーマルタックルはオモリ120号だ。

富所さんが持参した仕掛けはプラヅノ11センチの直結4本とブランコ5本。同行のヤリイカ釣り初挑戦の友人はブランコ、富所さんは直結から始めた。

当日のポイントは城ケ島沖の水深120～175メートル。オモリ80号のライトで楽しんだ

竿先の動きも手に
伝わる感触も多彩

▼ブランコ仕掛けでは２点掛けも

◎今回ライトヤリイカに使ったベイゲームマルイカ82・140（手前・価格２万3500円）はこれから開幕する深場のマルイカに対応した扱いやすいロッド。
◎リールは細糸にも対応するフォースマスター300ＤＨ（価格７万4000円）で、道糸は１号300メートル

▲下が深場マルイカ用のセット。上はライトゲームリミテッドTYPE82/H190とフォースマスター600DH。ともにライトヤリイカにマッチする

ハモノの正体はワラサだった

◀▲初冬、城ケ島沖のヤリイカは小～中型がメイン。小さな乗りをとらえるのがコツ

◀道糸２号ならフォースマスター600DH（手前・価格８万2000円）がラインキャパシティ（PE2号300メートル）、パワーの点でもおすすめ

▶水深の変化をこまめに
伝えてくれる出口漁船長

ヤリイカからのシグナルをとらえて1杯ずつ釣っていく。流し込んでいくときは20メートルほど、まめに巻き落としてやる

▲軟らかいヤリイカはソフトに乗せていく

仕掛けの上には中オモリやリング類は一切付けず、リーダーに直結する。せっかくライトにしているのだから、仕掛け周りはシンプルが一番。信じがたいかもしれないが、150メートルを超える深さになると、ツノ数が1本増えるだけで抵抗がかなり大きくなる。

そこでライトはツノ数が少ない仕掛けになるのだが、短い仕掛けは探る幅が狭くなる弱点がある。

その一方で、タックルとオモリが軽く、潮の抵抗が少ないため、イカのシグナル＝乗りが明確に伝わってくるというメリットがある。

整理するとこうなる。

多点掛けなど、豪快にイカ釣りを楽しむならツノ数は〝多く〟素早く着底させるためにオモリは〝重く〟ヨリを防ぐためリングなどを〝装着〟する。

つまり「沖イカ」スタイル。

逆に、1杯ずつアタリを見て掛けて、巻き上げて楽しみたいのなら、道糸は〝細く〟ツノ数は〝少なく〟オモリは〝軽く〟できるだけ〝シンプル〟に。

これが「ライト」。

特筆すべきは、沖イカとライト、どちらも楽しいということ。この2つの遊び方、面白さ、つまり価値観を、同じ船上で追求、実現できる。これこそ沖釣りの進歩であり成熟だ。

その中で、富所さんはできるだけシンプルに、軽く、無駄をそぎ落とし、1杯のイカをより大切に楽しむ「ライトヤリイカ」を追求している。

「ブランコ仕掛けは縦に動くアタリ、直結は横に動くようなアタリに掛けていきます。同じイカでも、ヤリイカは激しく掛けにいかないほうがいい傾向が見られます」

竿先に出るアタリひとつとっても、掛け方も、ライトは多彩で面白い。そして引きも、バレたときの感触もよく分かるから、スリルもある。

◇

とはいえこの日は、少々スリルがありすぎた。ヤリイカを掛けるたび、ワラサやマダイとおぼしきハモノたちに取られてしまうのだ。

「これだけ途中で取られると、よく無事でいてくれたなあと感動しますね！」

30杯近く掛けながら無傷で上がってきたイカは三分の一ほど。同じライトでも、いつも以上にヤリイカに愛おしさを感じる富所さんであった。

4本ツノであれば初めてでも直結仕掛けで楽しめます、と富所さん

◎ Presented by SHIMANO

【撮影協力】三浦半島小網代港　やまはち丸　☎046・881・5067